

組合だより

第74号

7月7日
2004年

発行所
岡山大学職員組合
〒700-8530 岡山市津島中2-1-1
電話 086-252-1111(代)
(内線) 7168
直通・FAX 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyounet.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyounet.jp



左から荻野書記長、
議長の中東(法文経)さん、山本(農)さん

2004年度 新年度方針決まる

2004年6月28日(月)午後6時から8時まで、文学部会議室で岡大職組定期大会が開かれました。過半数代表委員会への取り組み、非常勤職員の労働局斡旋の成功、組合員拡大、規約改正等について活発な議論が交わされました。熱心な討論の後、新年度方針(配布済み)が採択され、新執行部が選出されました(新執行部は次号で紹介予定です)。

組合の課題をめぐって

活発に議論

大会には、非常勤職員Aさんの労働局斡旋成功の特集号(「組合だより」73号)が配布され、代議員の関心を呼びました。

過半数代表委員会と組合の関係、Aさんの取り組みと組合の変化や不安に対して組合は何ができるのか、など今後の組合のあり方を考える上で重要な質疑・討論が行われました。

執行部からは「組合はまだ力不足。大学の組織、裁判所、その他を活用して頑張りたい。労働協約が最も重要になるので、過半数組合を目指したい。」との発言がありました。

環境理工学部からは、組合員倍増の決意表明がありました。

中富委員長挨拶(一部抄録)

組合員の権利は、単組や連合体と事務局との直接交渉、苦情処理委員会への訴え、セクハラ防止協議会への訴え、労働基準局への調停申し立て、裁判闘争など多様な形態の闘い方ができることが明かになってきました。連合体は相談相手となり、事務局との間をコーディネートし支援し、場合によっては顧問弁護士ともタイアップするなどして、問題解決に取り組んで行く体制を整えてきているところです。

こうした組合活動の考え方を我々は、「活私開公」の「支援型」組合、というキーワードで理解しています。支援型組合とは、組合員一人ひとりが「自分の人権は自分で守る」ことを基本に、組合は、それをバックアップしていきます。活私開公とは、各個人が「私」を活かして、「公」を開くという意味ですが、組合が、各個人を支援し組合活動自体がそうした場を提供していくなかで、風通しのよい開かれた「公共性」を大学に創り出していくことが出来るのではないかと考えています。

「9条の会」アピール発表

6月10日、鶴見俊輔氏ら9人は、「日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。」という書き出しで始まる「9条の会」アピールを発表しました。事柄の重大性や意味の大きさにもかかわらず、一部報道を除いて、あまり大きく報道されませんでした。また、このアピールも、とくに何かの行動を呼びかけるものでもありませんでした。

それにもかかわらず、このアピールは、今静かな反響を呼んでいるようです。たまたまですが、朝日新聞で目にとまった記事と、アピールの一部を紹介します。憲法や教育基本法をめぐる状況について、組合員からの投稿を歓迎します。



「沖縄戦を忘れず 犠牲者慰霊法要」で

23日は沖縄戦の犠牲者を悼む「慰霊の日」。

大津市園城寺町の園城寺(三井寺)の観音堂では、太平洋戦争沖縄戦戦没者・犠牲者慰霊法要が営まれた。

同寺の福家俊明長吏(81)ら10人の僧が経を唱え、訪れた約20人が平和を祈願した。

福家長吏は、改憲反対を唱える大江健三郎氏ら9人の著名人による「9条の会」のアピール文を法要の前に配り、「今の平和を守っていくために、よく読んでご賛同いただきたい」と訴えた。

(朝日新聞6/24)

早野透 「多国籍軍参加と『茶色の朝』」

人々が日常に追われているうちにいつのまにか茶色の風景に変わっていく恐ろしさ。いま日本で「茶色の朝」を警告する人はいないのか。

例えば「9条の会」「憲法行脚の会」それぞれの発足はそれかもしれない。

「9条の会」のメンバーは井上ひさし、梅原猛、大江健三郎、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の9氏。「憲法行脚の会」は落合恵子、姜尚中、佐高信、城山三郎、土井たか子、三木睦子の6氏。……両会はなし崩し改憲もよくないけれどさらに明文改

憲に進むのを食い止めたものの気持ちに嘖き出したものだろう。

両方の会に名を連ねる三木睦子さんがあいさつした。

「夫三木武夫(元首相)から聞かされていた。ぼくは自民党が憲法改正して戦争をするようにならないように、自民党を離れないでいるんだよと。戦争のころ小泉さんはよちよち歩き。怖さを知らないのでしょう。自衛隊は海外でドンパチするのでなく私たちを守って。おばあさんもこれからは言っていく」

(朝日新聞6/22)

アピールの一部抜粋

「相手国が歓迎しない自衛隊の派兵を「国際貢献」などと言うのは、思い上がりでしかありません。

憲法九条に基づき、アジアをはじめとする諸国民との友好と協力関係を発展させ、アメリカとの軍事同盟だけを優先する外交を転換し、世界の歴史の流れに、自主性を発揮して現実的にかかわっていくことが求められています。」

投稿 イラク派兵差し止めを！

5月27日、「自衛隊撤退と有事7法案廃案を求める学内集会」が開かれました。有事法案は成立してしまいましたが、ねばり強く自衛隊撤退を求め平和を追求していきましょう。また、「自衛隊イラク派兵差し止め訴訟おかやまの会」が、「自衛隊イラク派兵差し止めを求め訴訟に参加しませんか」と呼びかけています。可能な手だてを講じて、平和を回復するよう努めたいと思います。(理学部・白井浩子)

去る5月27日昼休み岡山大学において、自衛隊撤退と有事7法案廃案を求める学内集会が同集会実行委員会の主催で開催



5月27日お昼休み、生協前で

されました。参加者は元教員、学生、県議会議員、戦争体験者など20名あまりで、戦争反対の熱い思い

を、食堂に入出入るする学生に訴えました。

この集会のアピールは次のように述べています。

「ただちに自衛隊をイラクから撤退させるべきです。」「自衛隊派遣の本当の目的が米軍支援にあることは明らかです。」「有事7法案は日本の全国土、全国民を総動員して戦争体制を築き上げる恐るべき法案です。」「それらの廃案を目指して奮闘することを宣言するものです。」

「自衛隊イラク派兵差し止め訴訟おかやまの会」とは

呼びかけ人として、市場恵子(社会心理学講師)倉橋剛(牧師)後藤正史(岡山多民族・多文化共生をめざす会)白井浩子

(岡山大助教授)難波幸矢(日本キリスト教団東中国教区常置委員)野田隆三郎(岡山大学名誉教授)早川正樹(ピースウォークおかやま代表)山口和秀(岡山大学教授)山根結希(自衛隊イラク派兵差し止め訴訟の会会員)矢山有作(元衆議院議員)湯原淳良(湯原内科医院院長)横田賢一(ジャーナリスト)などといった顔ぶれが並んでいます。

この会は、「日本に対して何らの武力攻撃を加えていないイラクへの派兵は、防衛目的をはるかに越えて」おり、「私たちは侵略行為の加害者にはなりたくありません。私たちは憲法前文のいう平和的に生存する権利を有しています。それは全世界の人々が等しく有する権利でもあります。それを実現するために、自衛隊イラク派兵を差し止め、撤兵を求める訴訟を起こしたいと考えます。」として、多数の人びとに、「原告団への参加と協力」を呼びかけています。さまざまな試みを通してねばり強く撤兵を要求していきましょう。



農学部単組 女性技術職員への 作業衣支給要求実現！

かねてから農学部単組では、「女性技術職員に対しても、男性と同様に作業服が支給されるようお願いします」と申し入れていました。この要求が、この度実現し、女性技術職員にも、作業衣が支給されることとなりました。ヤッター！

文法経単組 ソフトボール大会で 盛り上がる

カラ梅雨の好天に恵まれて、文法経単組では、連日ソフトボールの試合でいい汗を流しました。文・法・経・事務4チームがトーナメント方式で対戦、法がみごとに優勝、以下、経、事務、文の順位でした。それにしては強すぎる日差しで、UV光線が気になります。健康にはご用心！

散歩道

朝起きてみると、愛車のタイヤがパンクしていた。久しくパンクなどにあつたことがないだけに、当惑感が強い。一番近い自転車屋だつて、歩いて引いていけば、4、50分はたつぷりかかる。

自転車屋の親父も、顔見知りだが、私の苦手のタイプだ。あの親父のところへパンクした自転車を引いていく自分の姿を想像するとゾツとする。

パンクくらい自分で貼ればいい。だが、である。中学生以来私は、恥ずかしながら、パンク貼りに成功した試しがない。成功するも何もまずタイヤをリムから外せないのである。

どの自転車屋も、いとも簡単に、スルスルとタイヤを外した。もつとも最近ヘラのような金属棒を二枚使っているのをみたことがある。

あんな道具があればいいかと、私はパンク張りのキットを探しに行こうと思いついた。ホームセンターへ行ってみると、ゴム糊にパッチなどをセットにしたキットがあつた。例のヘラ様金属

棒も付属していた。

やっと意を決した私は、パンク貼りに挑戦した。だが、案ずるより産むが易し。タイヤの縁は、昔私を手こずらせたような強ばりもなく、ヘラ様金属棒であつけなく外れた。

チューブを取り出して空気を入れれば、あとはパンク箇所を探すだけである。キットだけ持つて自転車の前に座り込んでいた私は、バケツ、水、ぞうきんなどと叫んでいた。

日曜大工に成功したこのない私のことを危うんでいた妻は、日頃とはうつつかわつた機敏さで、それらをハンマーと板切れまで添えて運んできた。糊付けしたあと、その部分を叩くのを妻も知っていたのだった。

春晩し灯ともし頃に
パンク張る

(k)

(この話には後日談がある。パーンという大きな音がして、このチューブはバーストした。タイヤサイズが緩めで、チューブがタイヤとリムとの間に食い込んだのだから、あつけないが少し緩いのだから、あつけない外れるわけである。結局私は追加「授業料」を払うことになった。)

無料法律相談所「ユニオン」

7月17日(土)
午後12時30分～午後2時
(いつもより開設時間が早くなります。ご注意ください！)

場所:文化科学系総合研究棟・第1演習室

編集後記

Aさんの主任外しをはね返したニュースは、梅雨空を吹き飛ばすビッグ・ニュース。

いきなり組合が矢面に立つのでなく、岡山労働局に提訴しその斡旋を仰いだのが好結果につながった。今後とも、多様な運動の組み立て方を追求していきたいと考える。

事務部には、不満や矛盾が充満している。それを組合は取り上げきれない。事務職員の組合加入に取り組めない。環境理工の組合員倍増発言は、それだけに、頼もしい。突破口が開かれることを！ 編集子